

# 14 弾道ミサイル発射に伴う Jアラート発信時における対応について

## 広島県に「Jアラート」による緊急情報が発信された場合

Jアラート発信時	児童(生徒)の対応	その後の対応
<b>登校前</b>	<b><u>自宅待機</u></b>	授業の実施等については、安全の確保が確認された後、緊急メールや電話等により連絡を行う。
<b>登下校中</b>	<b><u>危機回避行動</u> をとる</b>	児童は、教職員や保護者など大人の指示に従う。
<b>在校中</b>	<b><u>校内待機</u></b>	その後の対応については、緊急メールや電話等により連絡を行う。状況によっては、児童の保護者への引き渡しを行う。

## 弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について

### 1. Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

○Jアラートを通じて、防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、落ち着いて直ちに次の行動をとる。

#### 【屋外にいる場合の行動例】

- ・近くのできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

#### 【屋内にいる場合の行動例】

- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

### 2. ミサイルが着弾した場合の行動例

○ミサイルが着弾した場合に取るべき行動の例は以下の通り。

- ・近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。
- ・屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。